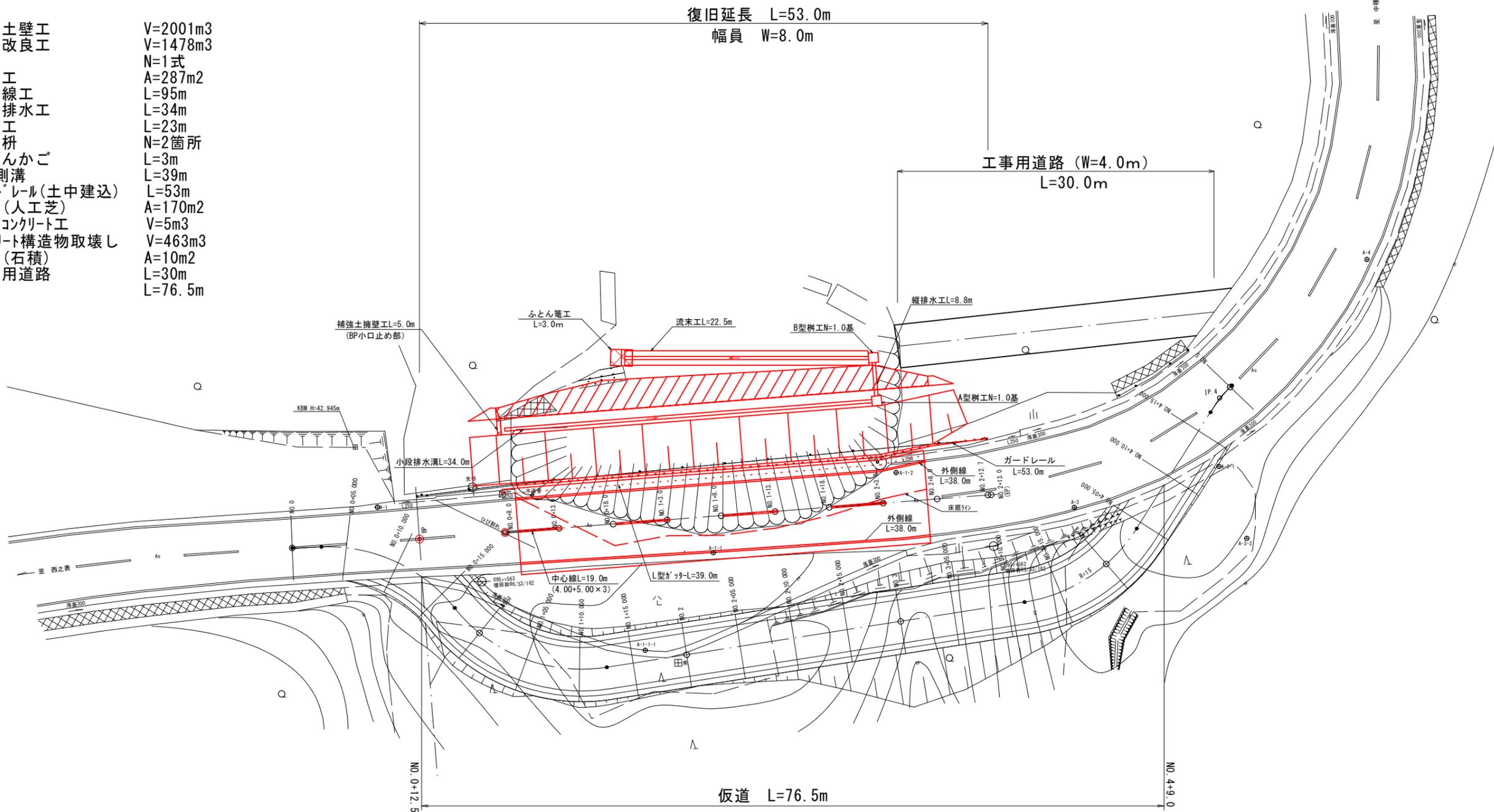


5災第13号 道路災害復旧工事 (主) 西之表南種子線 増田

平面図 S=1:200

- 補強土壁工 V=2001m<sup>3</sup>
- 地盤改良工 V=1478m<sup>3</sup>
- 土工 N=1式
- 舗装工 A=287m<sup>2</sup>
- 区画線工 L=95m
- 小段排水工 L=34m
- 流末工 L=23m
- 集水柵 N=2箇所
- ふとんかご L=3m
- L型側溝 L=39m
- ガードレール(土中建込) L=53m
- 張芝(人工芝) A=170m<sup>2</sup>
- 張りコンクリート工 V=5m<sup>3</sup>
- コンクリート構造物取壊し V=463m<sup>3</sup>
- 雑工(石積) A=10m<sup>2</sup>
- 工事用道路 L=30m
- 仮道 L=76.5m



線形戻回路 1		線形戻回路 2		線形戻回路 3		線形戻回路 4	
IP	1	IP	2	IP	3	IP	4
IA	53-38-56.371	IA	60-18-52.160	IA	48-42-55.386	IA	11-58-29.321
R	15.000	R	15.000	R	15.000	R	15.000
TL	7.585	TL	8.715	TL	6.791	TL	1.573
SL	1.899	SL	2.348	SL	1.466	SL	0.082
CL	14.045	CL	15.790	CL	12.754	CL	3.135

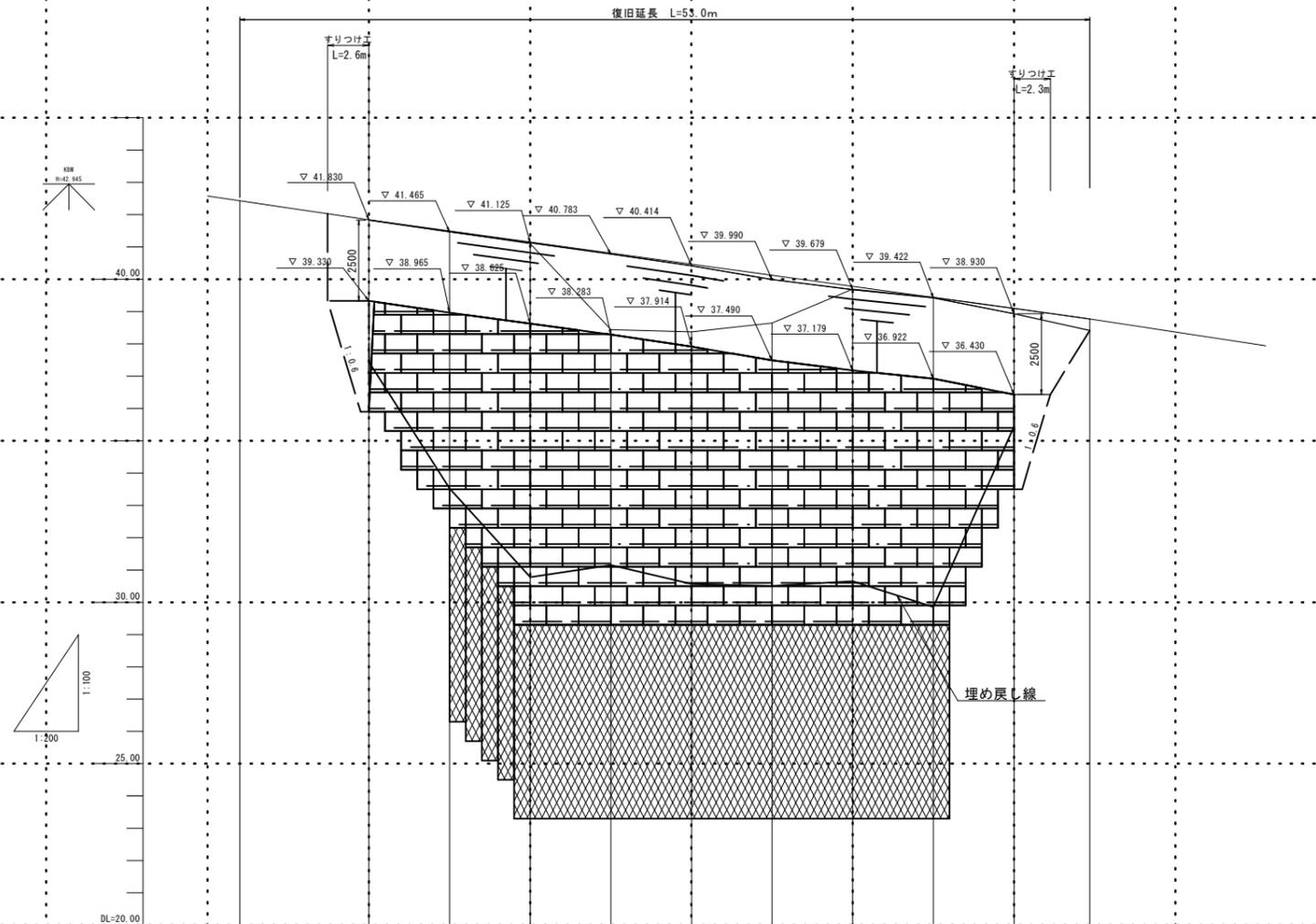
実施設計図

鹿児島県

工事名	令和5年度 5災第13号道路災害復旧工事
河川名	主要地方道 西之表南種子線
工事箇所	熊毛市 中種子町 増田 地内
図面種類	縦断図
縮尺	図示の通り
図面番号	全 16 葉 第 1 号

5災第13号 道路災害復旧工事 (主) 西之表南種子線 増田

縦断面図 V=1:100・H=200



勾配												
盛土												
切土												
計画高		42.39	41.84	41.47	41.04	40.76	40.44	40.58	39.76	39.44	38.77	
地盤高		42.39	41.84	41.47	41.40	38.44	38.67	38.64	38.68	39.44	38.77	
追加距離		0.00	8.00	13.00	+18.00	23.00	+28.00	33.00	+38.00	43.00	+48.00	53.0
単距離		0.00	8.00	5.00	+5.00	5.00	+5.00	5.00	+5.00	5.00	+5.00	5.00
測点		BP	NO.0 +8.00	NO.0 +13.00	MV.0 +18.00	NO.1 +3.00	MV.1 +8.00	NO.1 +13.00	MV.1 +18.00	NO.2 +3.00	MV.2 +8.00	NO.2 +13.00(EF)
曲率図												

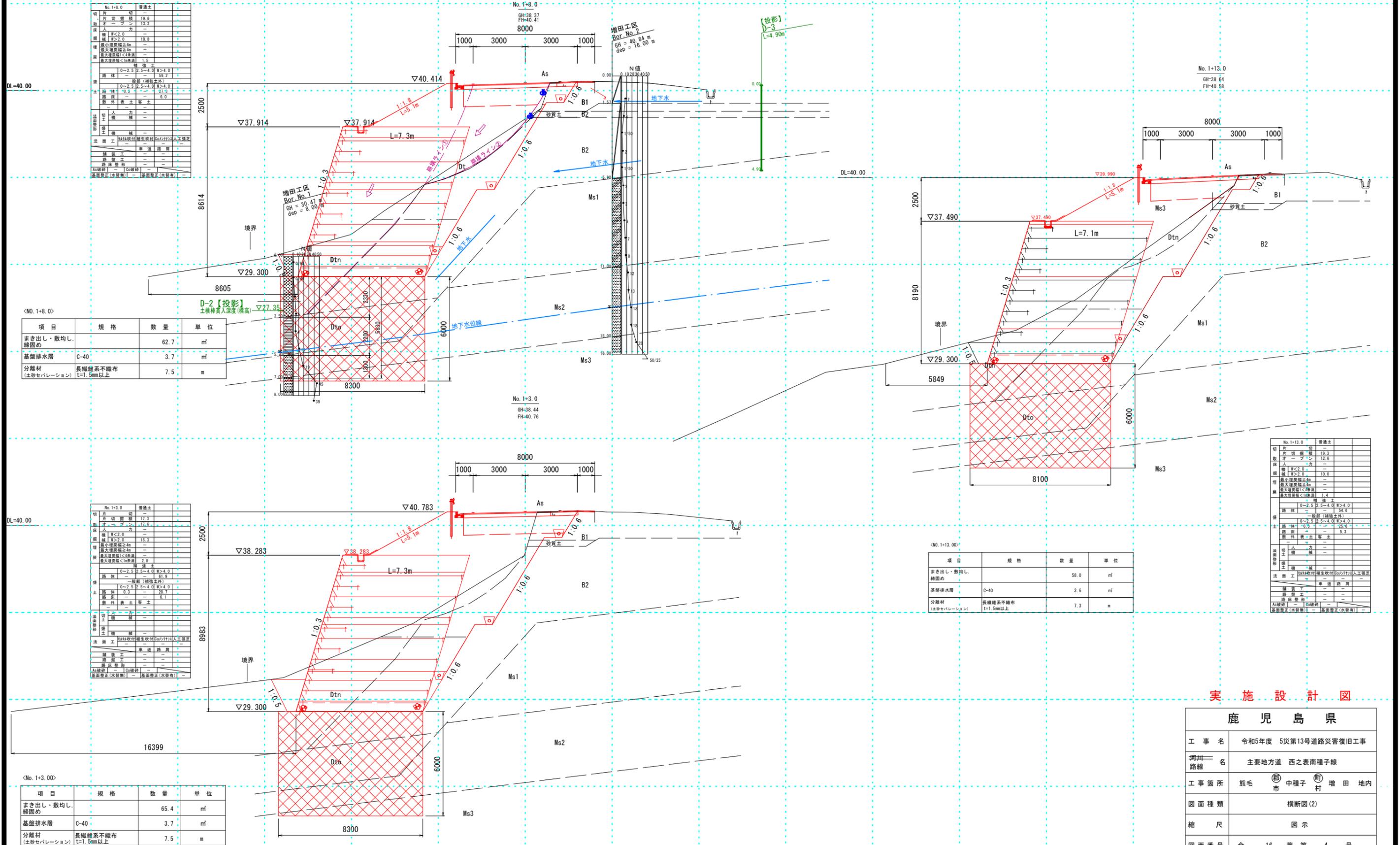
実施設計図

鹿 児 島 県	
工事名	令和5年度 5災第13号道路災害復旧工事
河川名	主要地方道 西之表南種子線
工事箇所	熊毛 市 中種子 町 増田 地内
図面種類	縦断面図
縮尺	図示の通り
図面番号	全 16 葉 第 2 号



5災第13号 道路災害復旧工事 (主) 西之表南種子線 増田

横断面(2) S=1:100

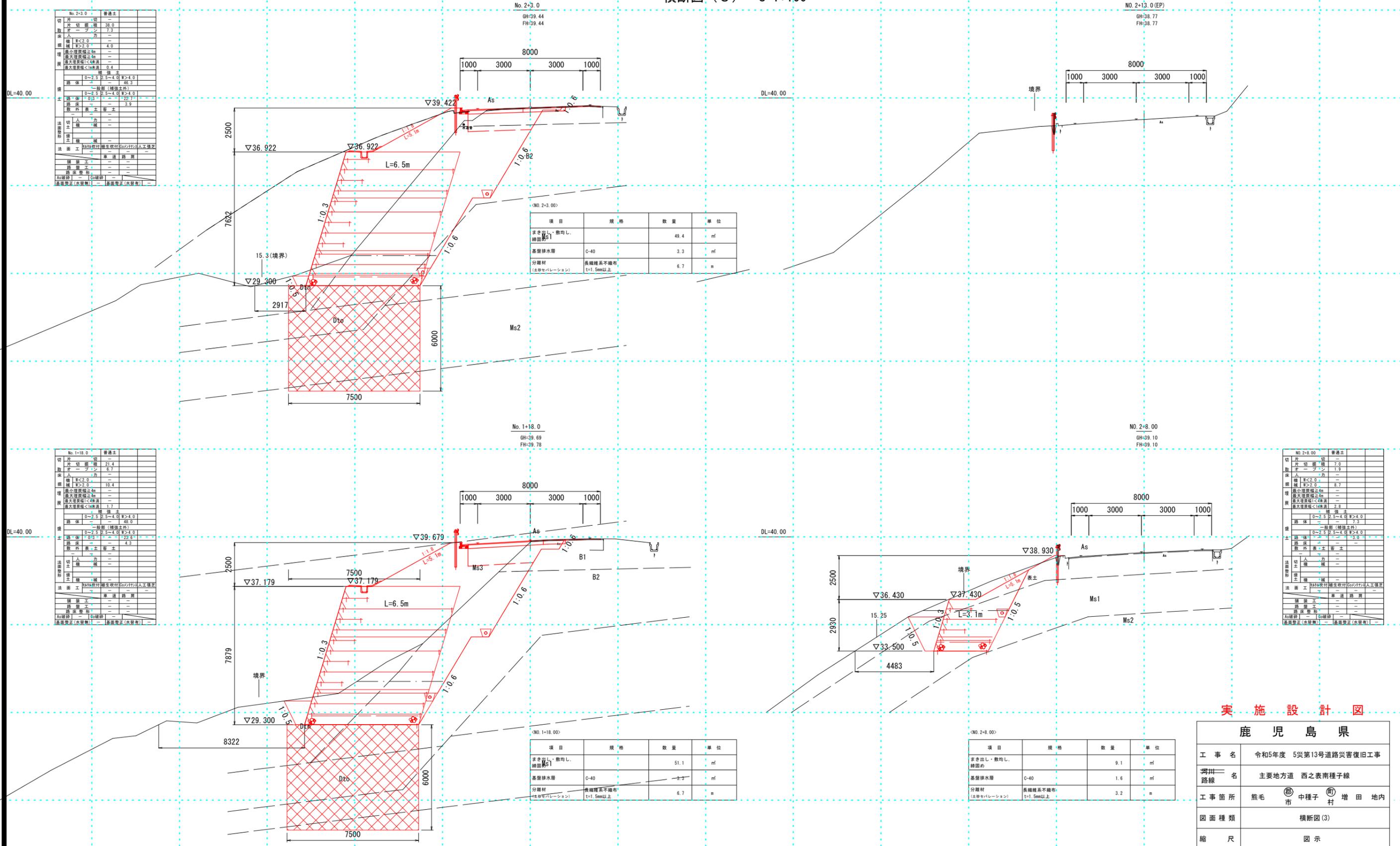


実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	令和5年度 5災第13号道路災害復旧工事
河川 路 線 名	主要地方道 西之表南種子線
工 事 箇 所	熊毛 市 中種子 村 増田 地内
図 面 種 類	横断面(2)
縮 尺	図 示
図 面 番 号	全 16 葉 第 4 号

5災第13号 道路災害復旧工事 (主) 西之表南種子線 増田

横断面(3) S=1:100



No. 2+3.0		普通土	
切	片	切	削
取	土	取	土
敷	土	敷	土
埋	土	埋	土
法	面	法	面
工	工	工	工

項目	規格	数量	単位
まき出し・敷均し・締固め	S1	49.4	m <sup>3</sup>
基礎排水層	C-40	3.3	m <sup>3</sup>
分離材 (土砂セパレーション)	長繊維系不織布 t=1.5mm以上	6.7	m

No. 1+18.0		普通土	
切	削	取	土
敷	土	敷	土
埋	土	埋	土
法	面	法	面
工	工	工	工

項目	規格	数量	単位
まき出し・敷均し・締固め	S1	51.1	m <sup>3</sup>
基礎排水層	C-40	3.3	m <sup>3</sup>
分離材 (土砂セパレーション)	長繊維系不織布 t=1.5mm以上	6.7	m

項目	規格	数量	単位
まき出し・敷均し・締固め	S1	9.1	m <sup>3</sup>
基礎排水層	C-40	1.6	m <sup>3</sup>
分離材 (土砂セパレーション)	長繊維系不織布 t=1.5mm以上	3.2	m

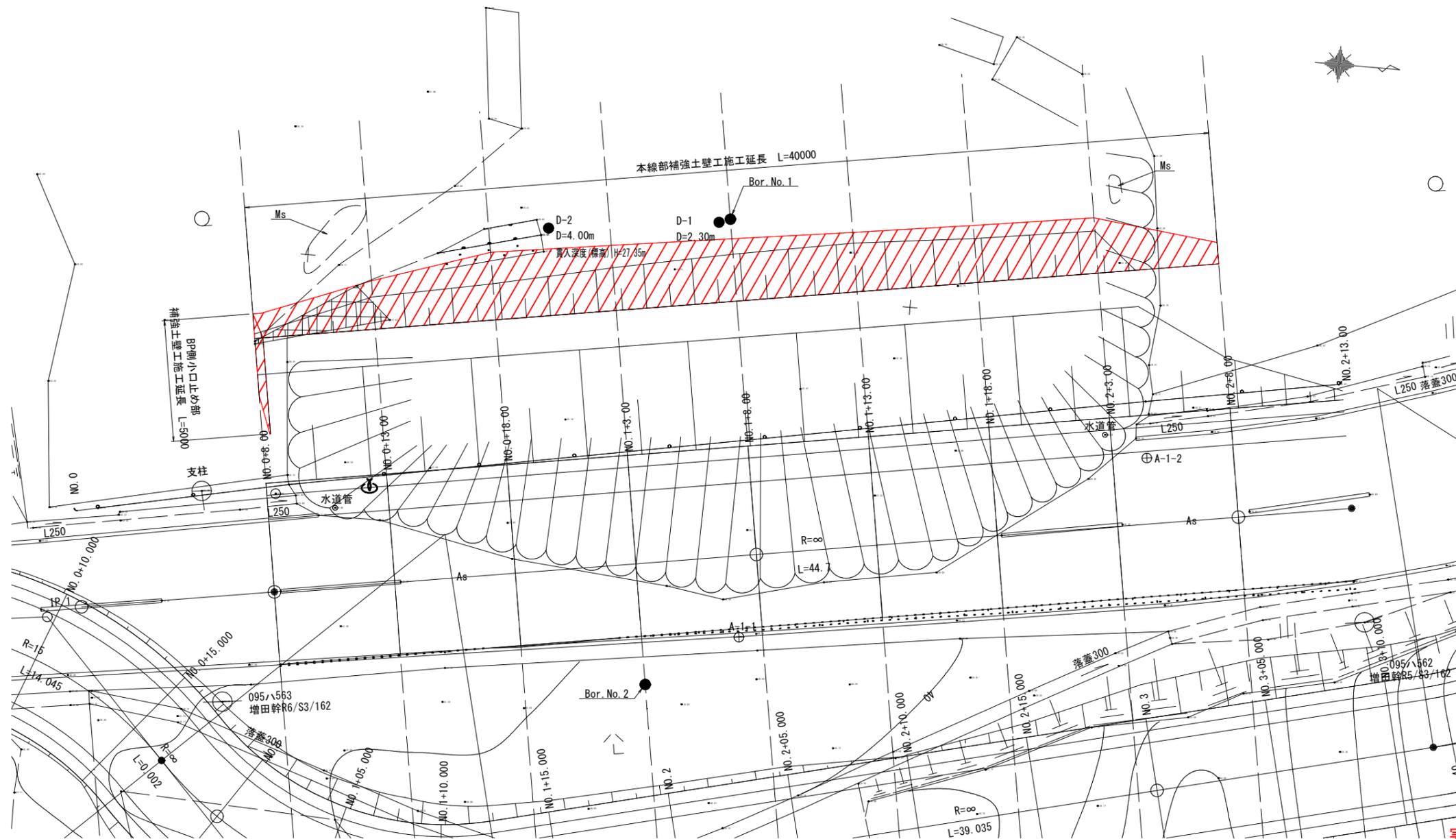
No. 2+8.00		普通土	
切	削	取	土
敷	土	敷	土
埋	土	埋	土
法	面	法	面
工	工	工	工

実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和5年度 5災第13号道路災害復旧工事
路線名	主要地方道 西之表南種子線
工事箇所	熊毛市 中種子村 増田 地内
図面種類	横断面(3)
縮尺	図示
図面番号	全 16 葉 第 5 号

補強土壁計画図(その1)

平面位置図 S=1:100



実施設計図

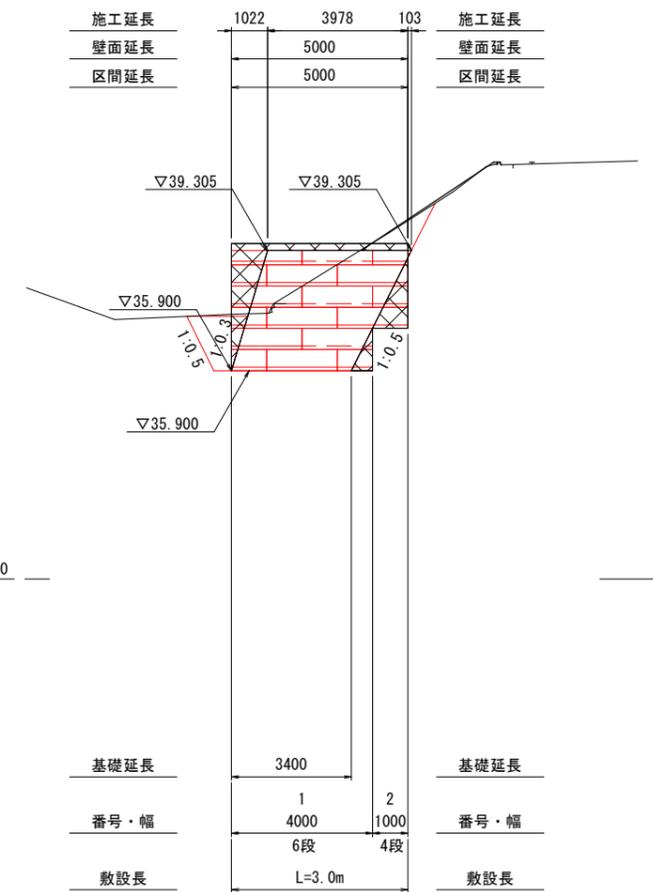
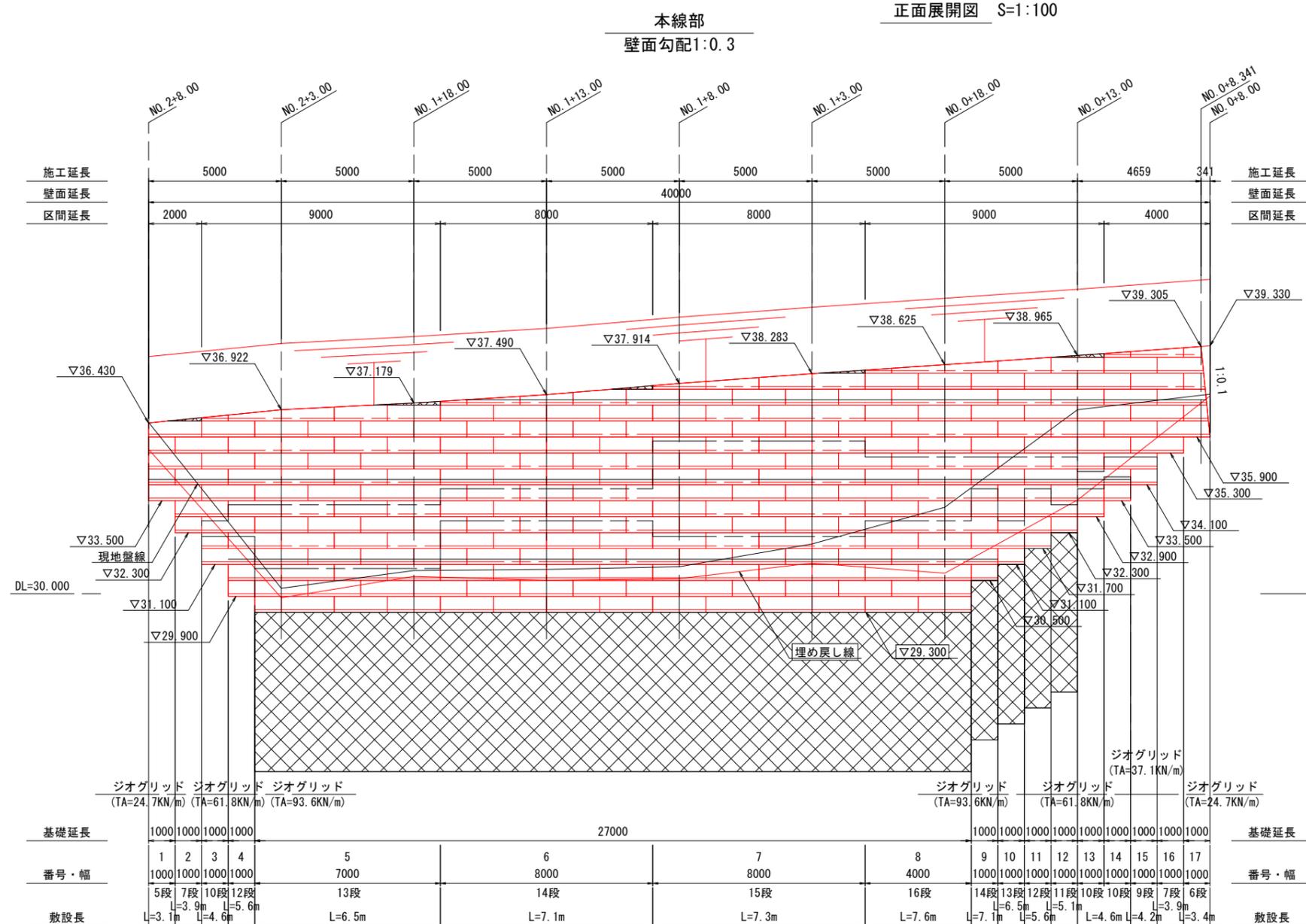
鹿児島県	
工事名	令和5年度 5災第13号道路災害復旧工事
河川名	主要地方道 西之表南種子線
工事箇所	熊毛市 中種子村 増田 地内
図面種類	補強土壁計画図(その1)
縮尺	図示
図面番号	全 16 葉 第 6 号

補強土壁計画図(その2)

凡例

-  : ハッチング部分は現場にてカットを行う箇所を示す。
-  : 破線はジオグリッド(TA=24.7KN/m)を示す。
-  : 一点鎖線は壁面強化材を示す。
-  : 土のう積みにて施工を行う範囲を示す。

BP側小口止め部  
壁面勾配1:0.1



凡例

-  : 破線はジオグリッドを示す。
-  : 一点鎖線は壁面強化材を示す。
-  : 実線は排水材を示す。
-  : 土のう積みにて施工を行う範囲を示す。
-  : 地盤改良範囲を示す。

補強土壁の盛土材料

補強土壁の盛土材料には、締固め後のせん断強度が高く、圧縮変形が小さく、通常の施工管理の下で所定の締固め度を容易に確保することができ、補強材に十分な引抜き抵抗力を発揮できる地盤材料が望ましい。特に、補強土壁を重要な構造物に隣接して設ける場合や、変位の制限が厳しい箇所に設置する場合は、これら良質な盛土材料を適用しなければならない。土質材料の区分としては、細粒分の少ない粗粒土が適当であり、有機質を多く含む土や圧縮性の高い粘性土は適用しないものとする。また、細粒土に分類される土質材料の使用は望ましくない。

【参考】  
『ジオテキスタイルを用いた補強土の 設計・施工マニュアル』第二回改訂版 (土木研究センター) P. 71

設計条件		
盛土材	$\gamma t = 19.0 \text{ kN/m}^3$	内的・外的: $kh = 0.13$ 全体安定: $kh = 0.08$
土質条件	$c = 0.0(10.0) \text{ kN/m}^2$	設計 水平震度 地盤種別 レベル1地震動Ⅲ種地盤 地域補正係数 $cz = 0.70$ [地域区分:C]
	$\phi = 30.0^\circ$	
上載荷重	$q = 10.0 \text{ kN/m}^2$	
地盤条件	良好な地盤、又は適切な処置が施された地盤とする。	
排水条件	適切な排水処理を施し、盛土は適切な含水比で施工されること。	

※全体安定の検討においては仮定値 $C=10\text{kN/m}^2$ を考慮しているため施工時に土質試験により $C \geq 10\text{kN/m}^2$ を確認する事とする

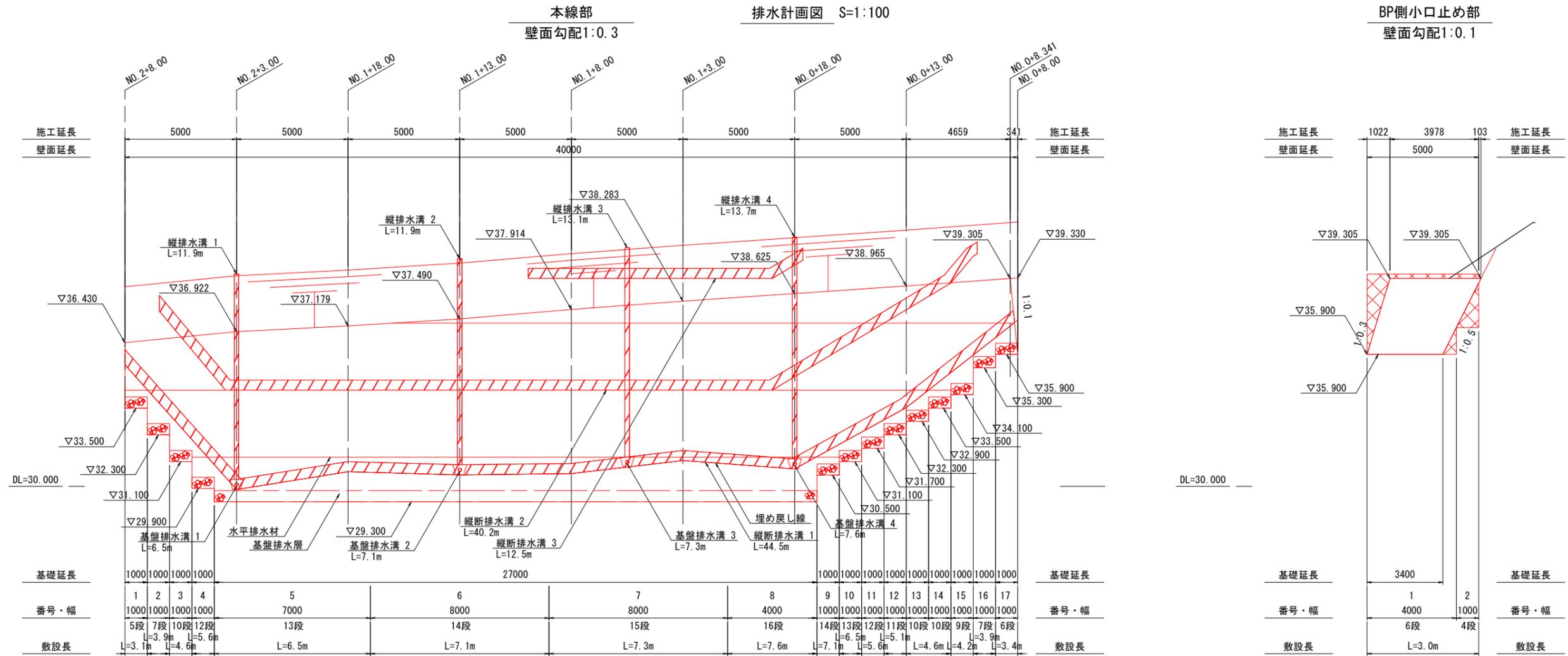
補強土壁の地盤反力度

	最大地盤反力度 (計算値) Q	安全率 Fs	極限地盤反力度 ( $Q \times Fs$ )	試験値
常時	216 $\text{kN/m}^2$	3.0	648 $\text{kN/m}^2$	650 $\text{kN/m}^2$
地震時	215 $\text{kN/m}^2$	2.0	430 $\text{kN/m}^2$	

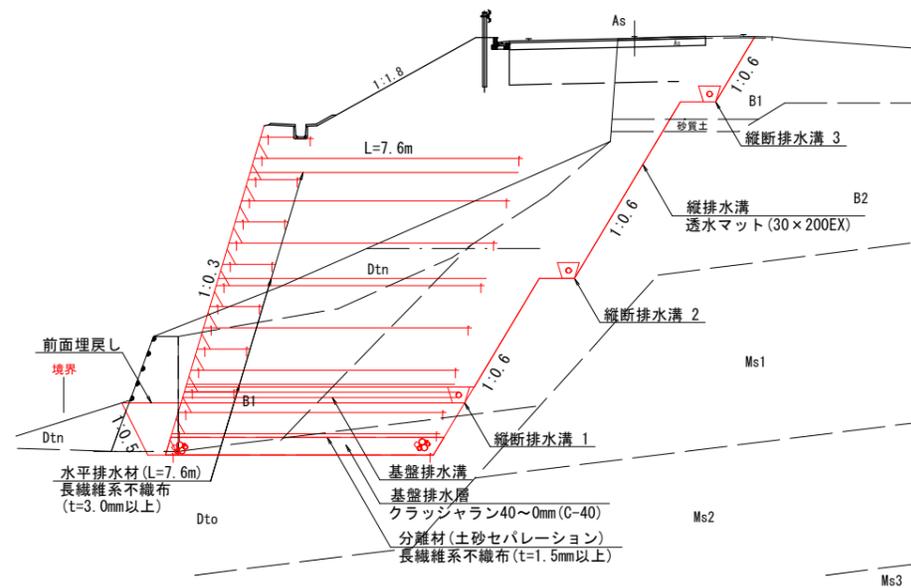
実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和5年度 5災第13号道路災害復旧工事
路線名	主要地方道 西之表南種子線
工事箇所	熊毛 市 中種子 町 増田 地内
図面種類	補強土壁計画図(その2)
縮尺	図示
図面番号	全 16 葉 第 7 号

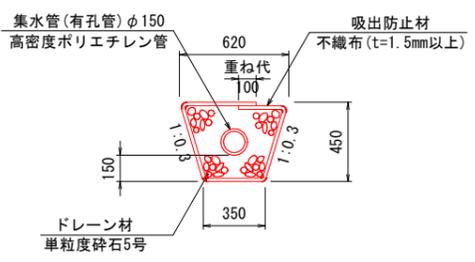
補強土壁計画図(その3)



標準断面図 S=1:100

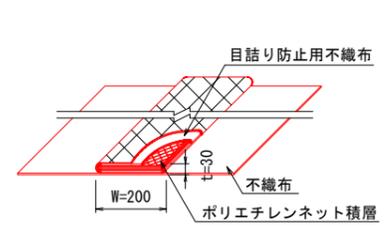


排水溝詳細図 S=1:20



注) 排水溝は縦断および横断方向に設置することとする  
 ただし横断方向の排水溝は5~10m程度のピッチに設置すること  
 注) 排水溝は標準的なものであり、現場状況によって増設することとする  
 注) 横断方向の排水溝は、埋戻しより高い位置に設置すること

縦排水溝詳細図 S=1:10



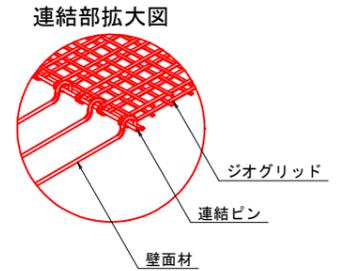
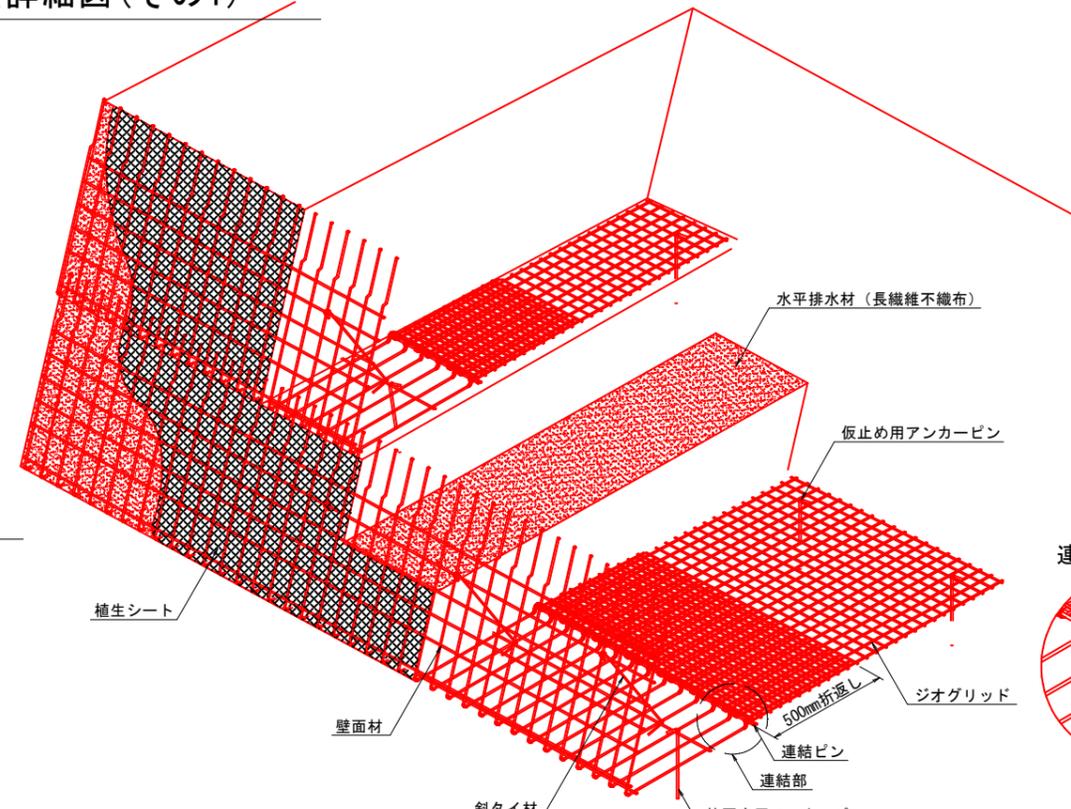
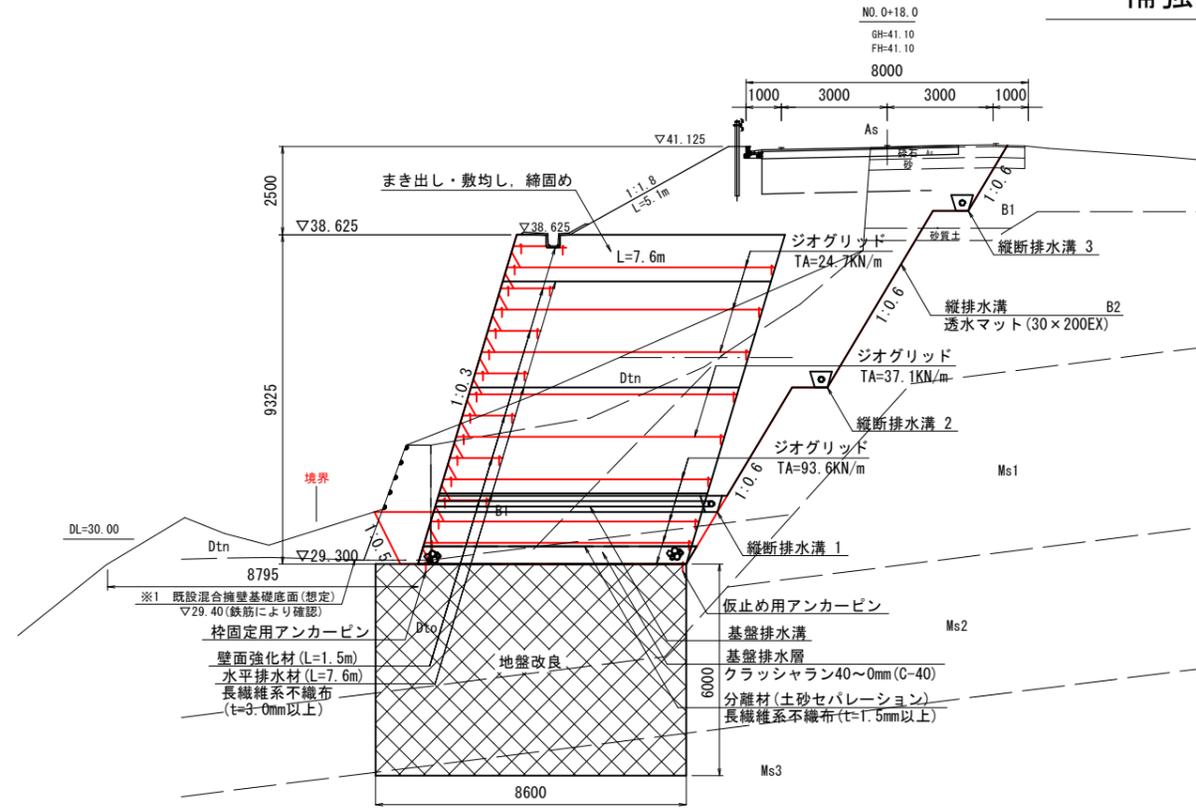
実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和5年度 5災第13号道路災害復旧工事
河川名	主要地方道 西之表南種子線
工事箇所	熊毛市 中種子村 増田 地内
図面種類	補強土壁計画図(その3)
縮尺	図示
図面番号	全 16 葉 第 8 号

標準断面図 S=1:100  
(壁面勾配1:0.3)

補強土壁詳細図(その1)

概要図



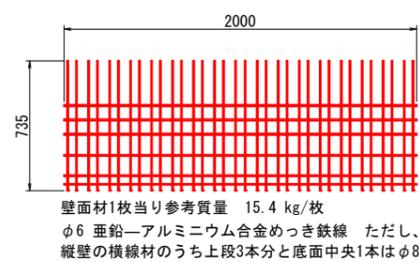
部材詳細図(1:0.3用)

注) 下記の寸法は製造寸法を示す。

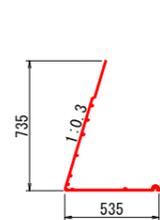
ジオグリッド詳細図 S=1:2

構造詳細図 S=1:20

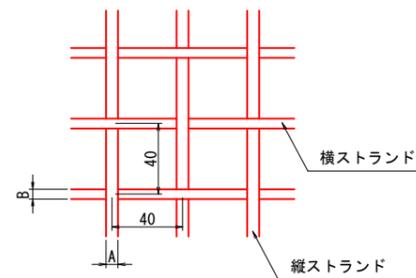
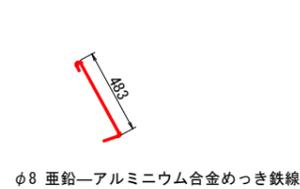
壁面材正面図 S=1:20



壁面材側面図 S=1:20

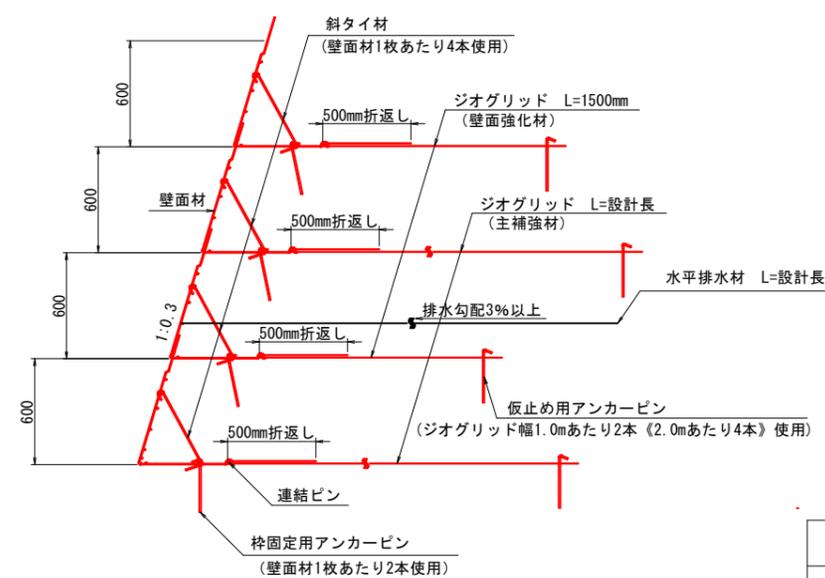


斜タイ材 S=1:20

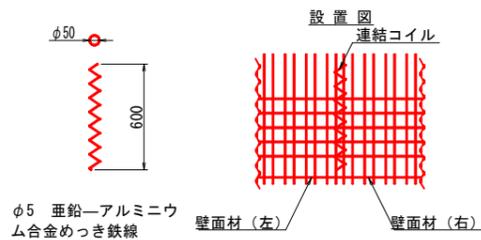


	壁面強化材	EX-40	EX-60	EX-100	EX-150
TA (KN/m)	24.7	24.7	37.1	61.8	93.6
A (mm)	6.7	6.7	7.2	9.7	10.7
B (mm)	5.6	5.6	5.8	5.8	5.8

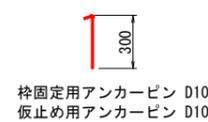
※壁面強化材にはEX-40を用いる。



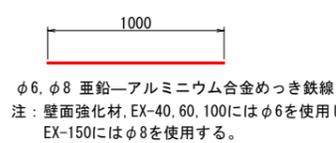
連結コイル S=1:20



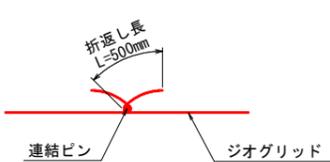
アンカーピン S=1:20



連結ピン S=1:20



ジオグリッド同士の接合図



注) 敷設方向の連結は連結強度を確保するため必ず折返し長500mmを確保する。また、盛土の縦断方向の接合は基本的には突合わせによる。(マニュアル第2回改訂版P180)ただし、施工中のズレが懸念される場合などはアンカーピンにより固定する。

注1) 斜タイ材と水平排水材を設ける高さが一致する場合には、水平排水材(長繊維不織布L=設計長)に切れ目を入れ施工する。  
注2) 水平排水材の土のまき出しによるめくれ上がり防止として、盛土材の撒き出し時に水平排水材の重ね合わせ部にはあらかじめ盛土材を薄くせるなどの対処をする。

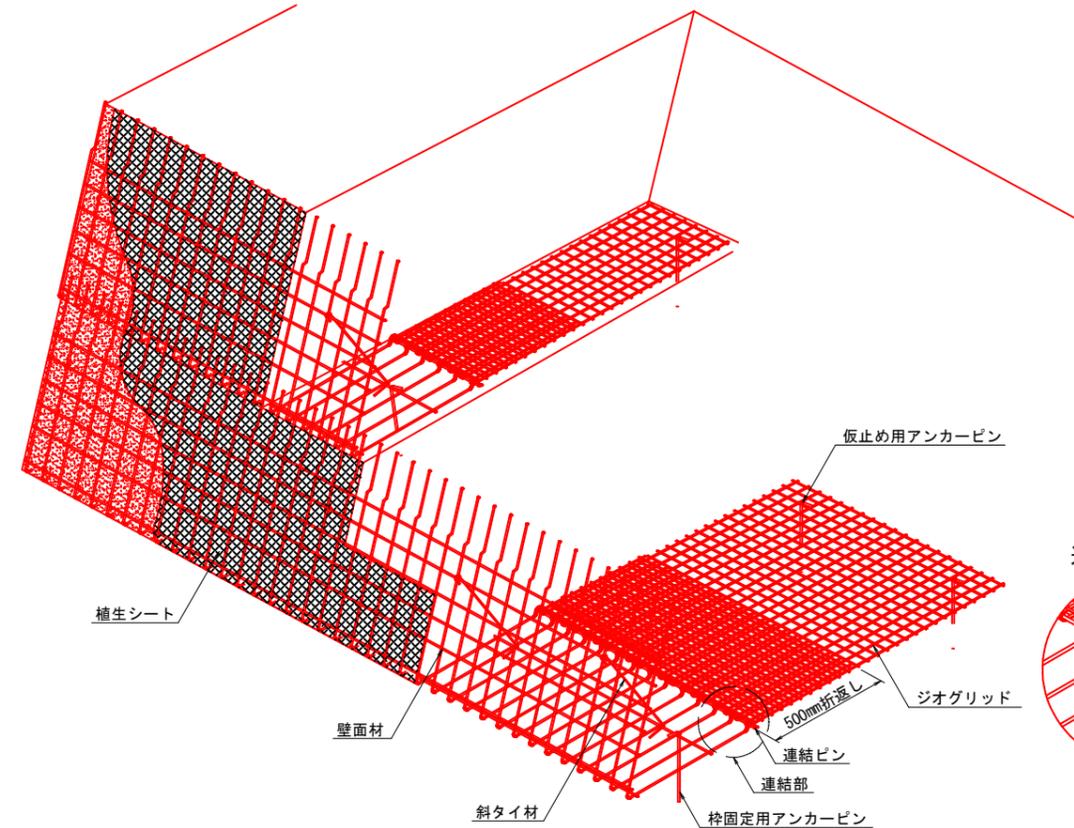
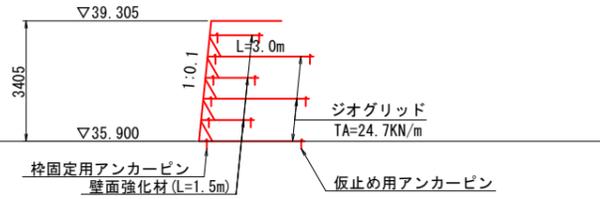
実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和5年度 5災第13号道路災害復旧工事
路線名	主要地方道 西之表南種子線
工事箇所	熊毛市 中種子村 増田 地内
図面種類	補強土壁詳細図(その1)
縮尺	図示
図面番号	全 16 葉 第 9 号

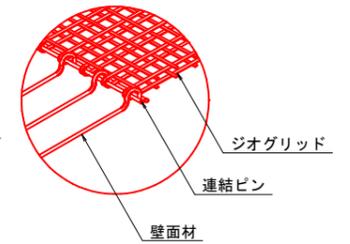
補強土壁詳細図(その2)

概要図

標準断面図 S=1:100  
(壁面勾配1:0.1)



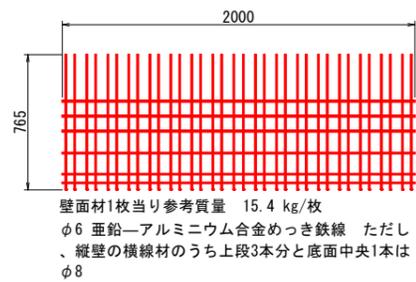
連結部拡大図



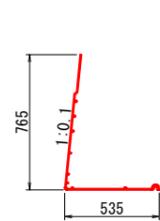
部材詳細図(1:0.1用)

注) 下記の寸法は製造寸法を示す。

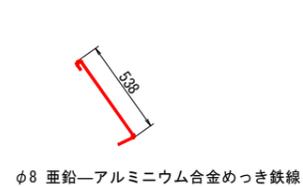
壁面材正面図 S=1:20



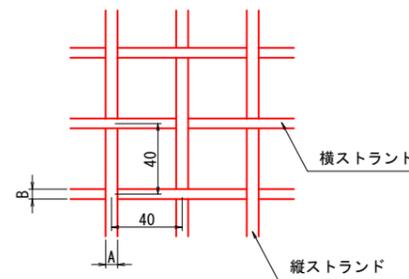
壁面材側面図 S=1:20



斜タイ材 S=1:20



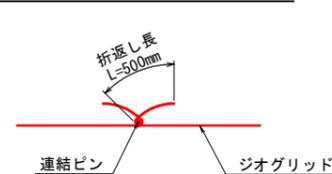
ジオグリッド詳細図 S=1:2



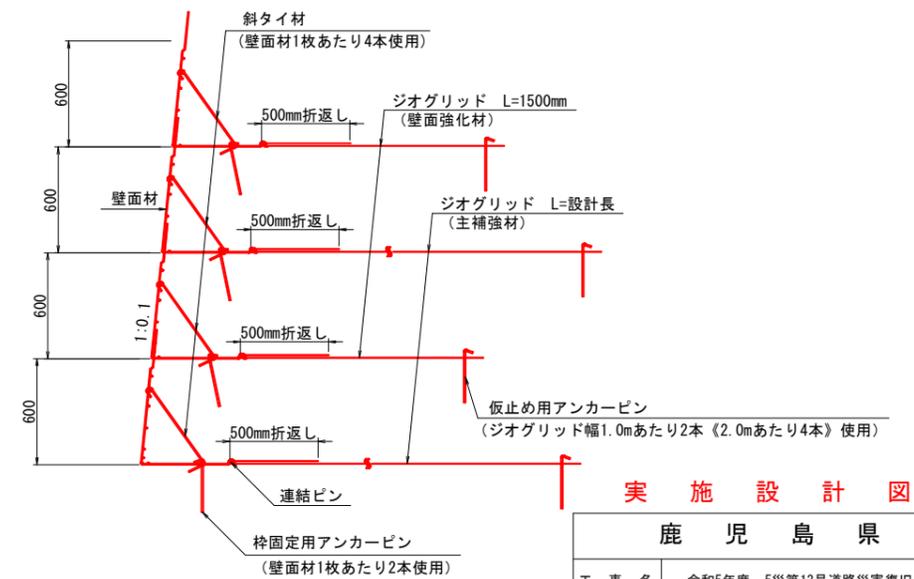
	壁面強化材	EX-40
TA (KN/m)	24.7	24.7
A (mm)	6.7	6.7
B (mm)	5.6	5.6

※壁面強化材にはEX-40を用いる。

ジオグリッド同士の接合図



構造詳細図 S=1:20



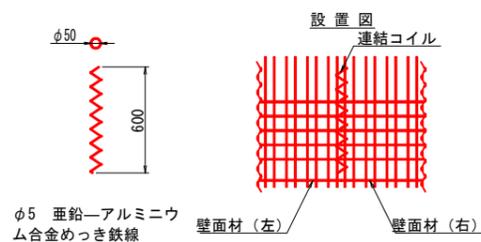
実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和5年度 5災第13号道路災害復旧工事
河川名	主要地方道 西之表南種子線
工事箇所	熊毛市 中種子村 増田 地内
図面種類	補強土壁詳細図(その2)
縮尺	図示
図面番号	全 16 葉 第 10 号

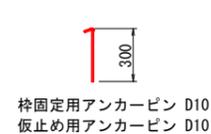
注1) 斜タイ材と水平排水材を設ける高さが一致する場合には、水平排水材(長繊維不織布L=設計長)に切れ目を入れ施工する。

注) 敷設方向の連結は連結強度を確保するため必ず折返し長500mmを確保する。また、盛土の縦断方向の接合は基本的には突合わせによる。(マニュアル第2回改訂版P180) ただし、施工中のズレが懸念される場合などはアンカーピンにより固定する。

連結コイル S=1:20



アンカーピン S=1:20

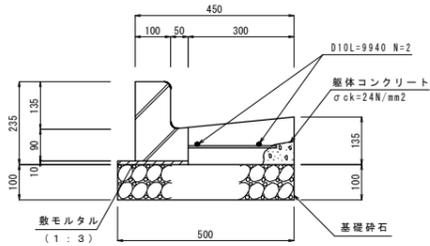


連結ピン S=1:20



5災第13号 道路災害復旧工事 (主) 西之表南種子線 増田

L型ガッター  
S=1:10

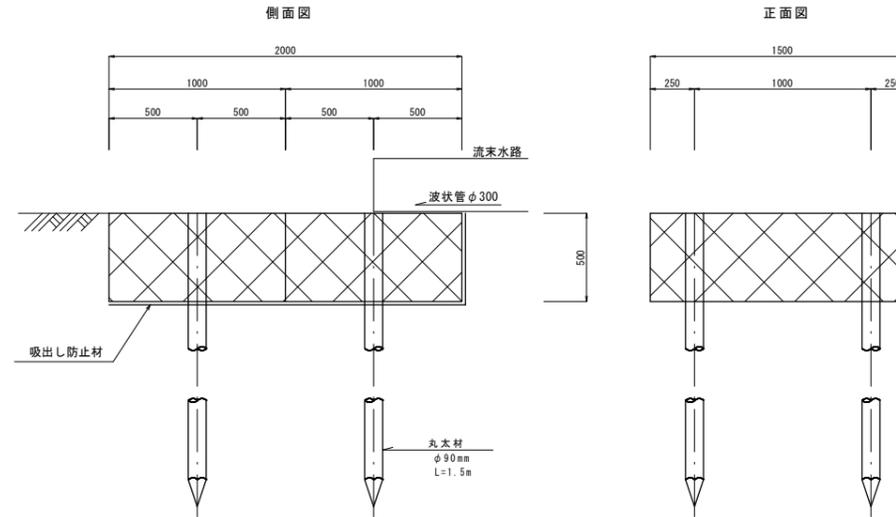


寸法及び数量表

名称	ブロック (個)	基礎材 (m <sup>2</sup> )	敷モルタル (m <sup>3</sup> )	躯体コンクリート (m <sup>3</sup> )	型枠 (m <sup>2</sup> )	鉄筋 (t)	伸縮目地 (m <sup>2</sup> )	参考重量 (kg)
L型ガッター (標準用)	5.00 (L=2.00m)	5.00	0.02	0.35	1.35	0.011	0.06	126

10m当り

ふとん籠工  
(H500×W1000×L1500) S=1:20

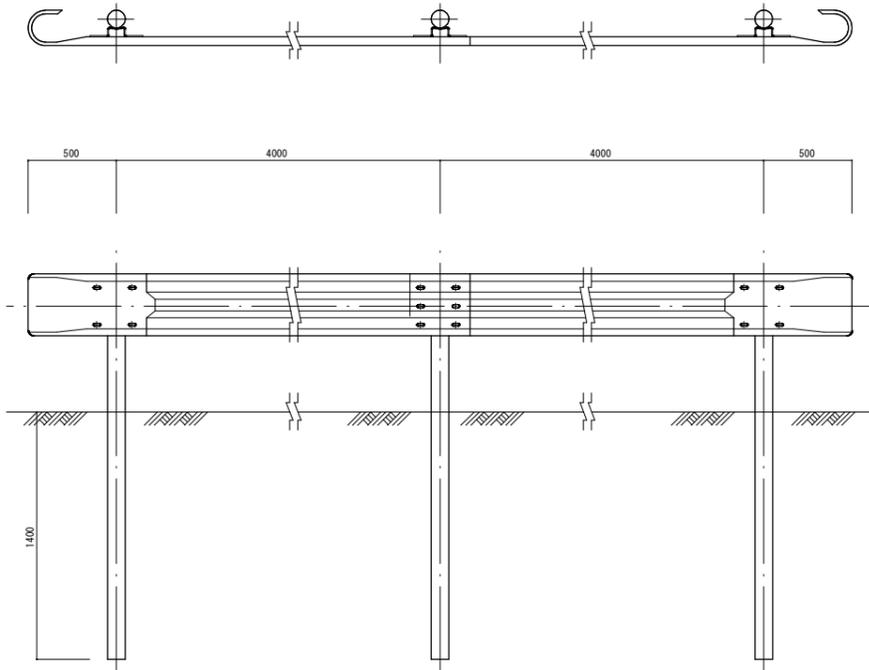


ふとん籠工 数量表

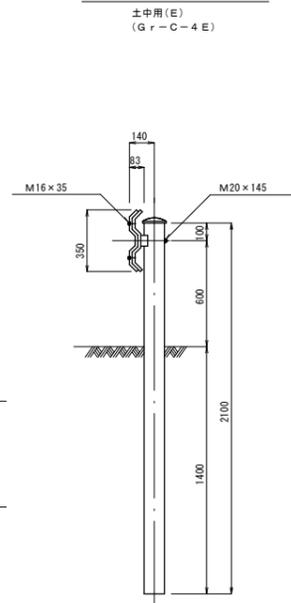
種別	摘要	計算式	数量	単位
ふとん籠	(H500×W1000×L1500)	0.50×2×1.50	1.5	m <sup>2</sup>
止杭	丸太材φ90(L1500)	(2×2)×1.5	6.0	m

1.0式当り

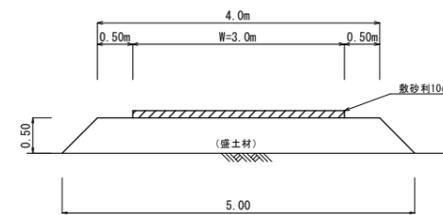
ガードレール (Gr-C-4E) 組立図  
S=1:20



支柱断面図 S=1:20



工事用道路  
(W=4.0m) S=1:50



工事用道路数量

種別	摘要	計算式	数量	単位
盛土		1/2 (4.0+5.0) × 0.5 × 10.0	22.5	m <sup>3</sup>
敷砂利		3.0 × 0.10 × 10.0	3.0	m <sup>3</sup>

10m当り

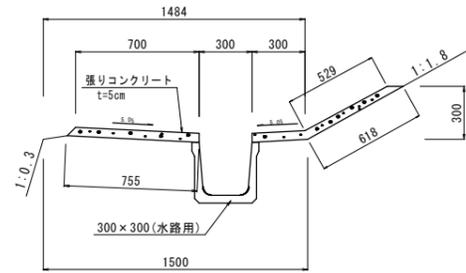
実施設計図

鹿 児 島 県

工事名	令和5年度 5災第13号道路災害復旧工事
河川名	主要地方道 西之表南種子線
工事箇所	熊毛 中種子 増田 地内
図面種類	構造図
縮尺	図示の通り
図面番号	全 16 葉 第 11 号

5災第13号 道路災害復旧工事 (主) 西之表南種子線 増田

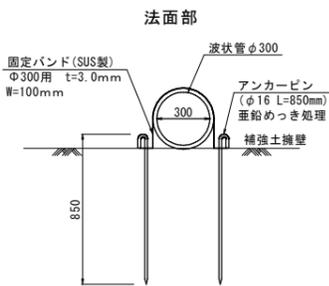
小段排水溝  
(U300水路用) S=1:20



小段排水溝 (U300) 水路用 数量表

種別	摘要	計算式	数量	単位
側溝	水路用 300×300	L=2.00m W=180kg	10.00	m
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$1/2 \times (0.70+0.30+0.529+0.755+0.30+0.618) \times 0.05 \times 10.00$	0.80	m <sup>3</sup>
型枠		0.05×2×10.00	1.00	m <sup>2</sup>
目地材	マダラ t=10mm	$1/2 \times (0.70+0.30+0.529+0.755+0.30+0.681) \times 0.05$	0.08	m <sup>2</sup>

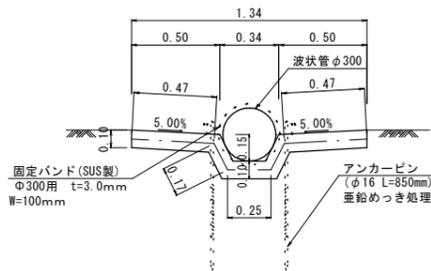
縦排水工 (法面部)  
(波状管φ300) S=1:20



縦排水工 (法面部) 数量表

名称	摘要	計算式	数量	単位
波状管φ300	高密度ポリエチレン管 (シングル管)4m	10.00	10.0	m
アンカーピン	φ16 L=850 #1500	10.00/1.5×2	14.0	本
固定バンド	(SUS製)φ300用 t=3.0mm W=100mm	10.00/1.5	7.0	個

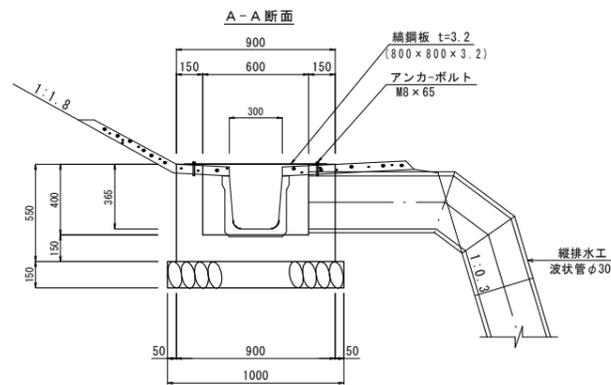
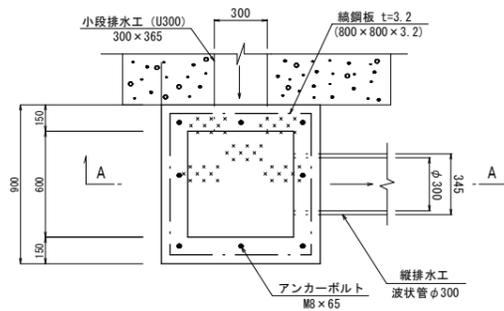
流末工断面図  
(ヤゲン式) S=1:20



流末工 材料表

名称	摘要	計算式	数量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$(0.47+0.17+0.25+0.17+0.47) \times 0.10 \times 10.00$	1.5	m <sup>3</sup>
目地材	マダラ t=10mm	$(0.47+0.17+0.25+0.17+0.47) \times 0.10$	0.15	m <sup>2</sup>
波状管φ300	高密度ポリエチレン管 (シングル管)5m	10.00	10.0	m
アンカーピン	φ16 L=850 #1500	10.00/1.5×2	14.0	本
固定バンド	(SUS製)φ300用 t=3.0mm W=100mm	10.00/1.5	7.0	個

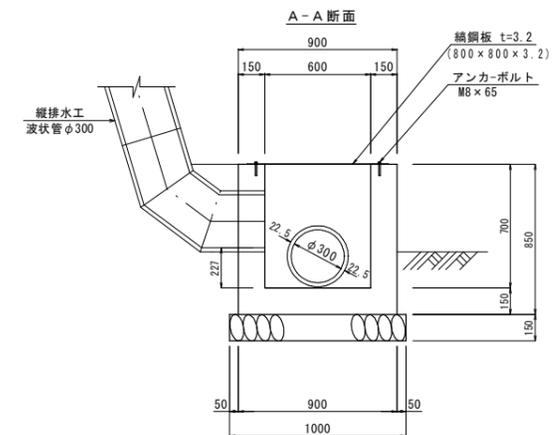
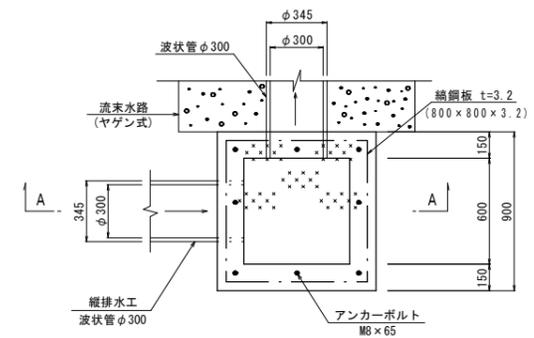
A型樹工  
S=1:20



A型樹工数量表

名称	摘要	計算式	数量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$0.90 \times 0.90 \times 0.55 - 0.60 \times 0.60 \times 0.40$ $- (0.30 \times 0.365 + \pi/4 \times 0.345 \times 0.345) \times 0.15$	0.27	m <sup>3</sup>
型枠	損料	$(0.90 + 0.60) \times 4 \times 0.55 - (0.30 \times 0.365 + \pi/4 \times 0.345 \times 0.345) \times 2$	2.9	m <sup>2</sup>
基礎材	再生切込砕石 t=150mm	1.00×1.00	1.0	m <sup>2</sup>
基礎整正		1.00×1.00	1.0	m <sup>2</sup>
鉄鋼板	t=3.2mm W=800×L=800 アンカーボルト M8×65	$(0.80 \times 0.80 \times 26.8kg)$	17.2	kg
			8.0	本

B型樹工  
S=1:20



B型樹工数量表

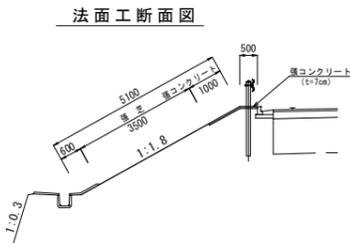
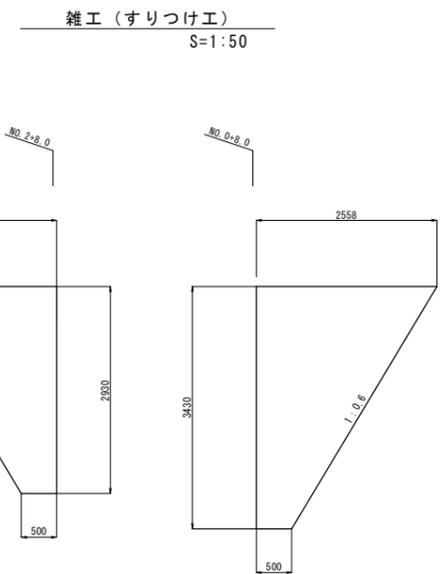
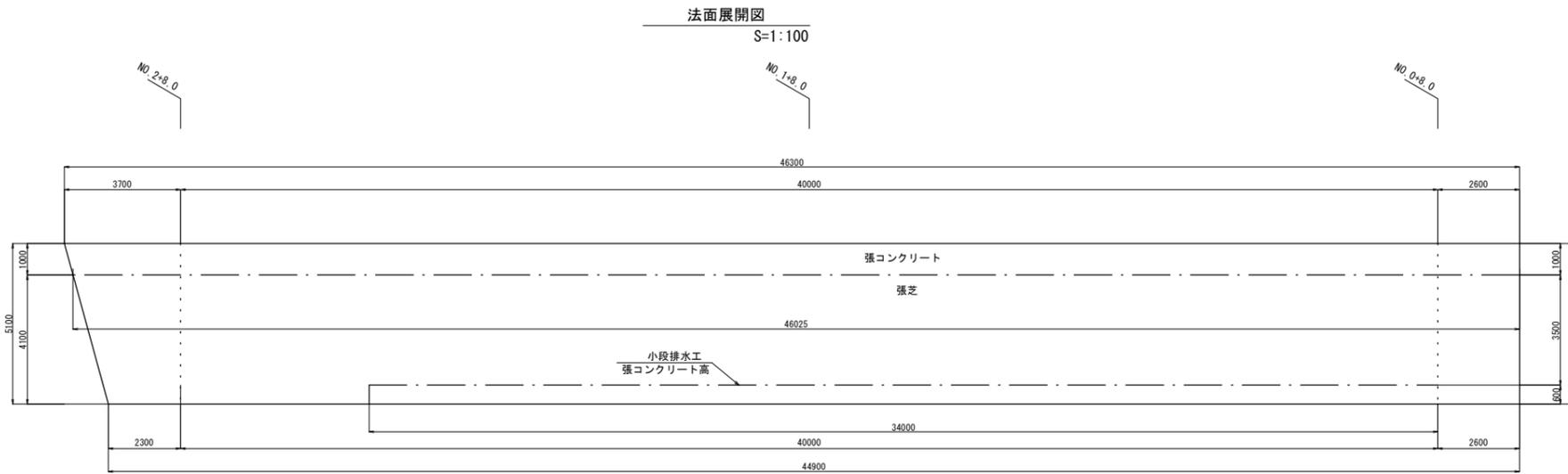
名称	摘要	計算式	数量	単位
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$0.90 \times 0.90 \times 0.85 - 0.60 \times 0.60 \times 0.70$ $- (\pi/4 \times 0.345 \times 0.345 \times 0.15) \times 2$	0.41	m <sup>3</sup>
型枠	損料	$(0.90 + 0.60) \times 4 \times 0.85 - (\pi/4 \times 0.345 \times 0.345 \times 2) \times 2$	4.7	m <sup>2</sup>
基礎材	再生切込砕石 t=150mm	1.00×1.00	1.0	m <sup>2</sup>
基礎整正		1.00×1.00	1.0	m <sup>2</sup>
鉄鋼板	t=3.2mm W=800×L=800 アンカーボルト M8×65	$(0.80 \times 0.80 \times 26.8kg)$	17.2	kg
			8.0	本

実施設計図

鹿児島県

工事名	令和5年度 5災第13号道路災害復旧工事
河川名	主要地方道 西之表南種子線
工事箇所	熊毛 中種子 増田 地内
図面種類	構造図
縮尺	図示の通り
図面番号	全 16 葉 第 12 号

5災第13号 道路災害復旧工事 (主) 西之表南種子線 増田



法面工 数量表 (1.0式当り)

種別	摘要	計算式	数量	単位
法面整形	盛土	$1/2 \times (46.30+44.90) \times 5.10 = 232.56m^2$	232.6	m2
法面工	張コンクリート	$1/2 \times (46.30+46.03) \times 1.00+0.50 \times 46.30 = 69.32m^2$	69.3	m2
	張芝	$1/2 \times (46.03+44.90) \times 4.10-34.00 \times 0.60 = 166.01m^2$	166.0	m2

雑工数量表 (1.0式当り)

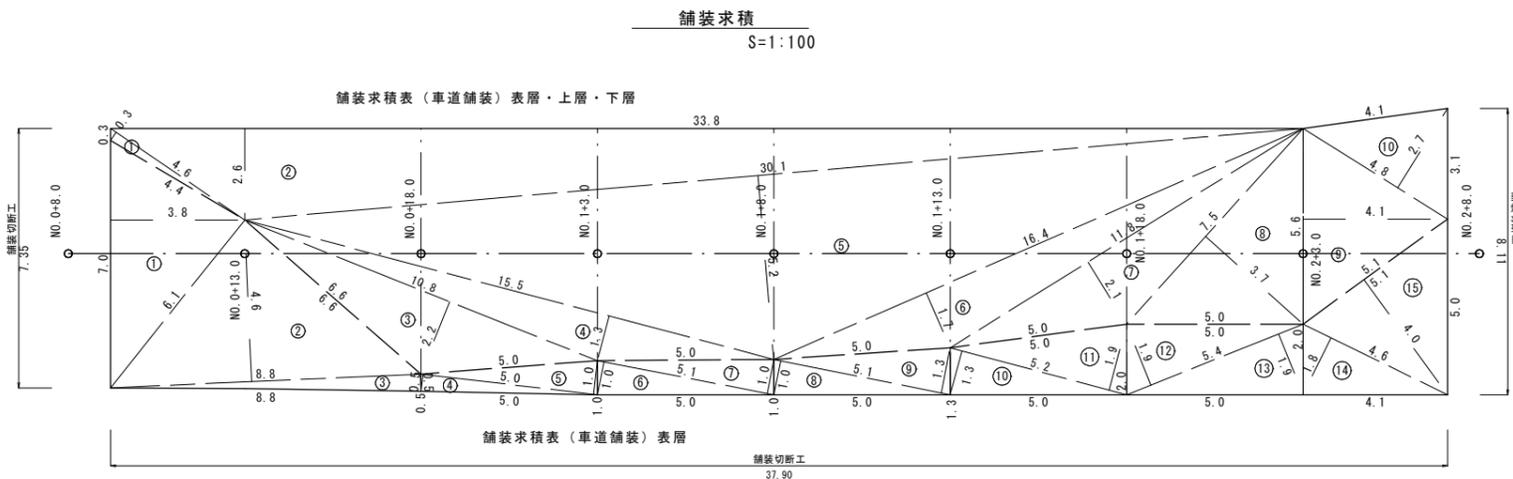
種別	摘要	計算式	数量	単位
雑工	(すりつけ工)	$1/2 \times (0.50+2.56) \times 3.43 \times 1.044 + 1/2 \times (0.50+2.26) \times 2.93 \times 1.044 = 9.70$	9.7	m2

舗装求積表 (車道舗装) 表層・上層・下層

地番	記号	底辺	高さ	倍面積 m2
	1	4.6	0.3	1.4
	2	33.8	2.6	87.9
	3	10.8	2.2	23.8
	4	15.5	1.3	20.2
	5	30.1	5.2	156.5
	6	16.4	1.7	27.9
	7	11.8	2.1	24.8
	8	7.5	3.7	27.8
	9	5.6	4.1	23.0
	10	4.8	2.7	13.0
倍面積 m2				406.3
面積 m2				203.2
地積 m2				203.20

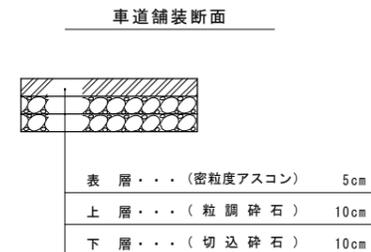
舗装求積表 (車道舗装) 表層

地番	記号	底辺	高さ	倍面積 m2
	1	7.0	3.8	26.6
	2	8.8	4.6	40.5
	3	8.8	0.5	4.4
	4	5.0	0.5	2.5
	5	5.0	1.0	5.0
	6	5.1	1.0	5.1
	7	5.1	1.0	5.1
	8	5.1	1.0	5.1
	9	5.1	1.3	6.6
	10	5.2	1.3	6.8
	11	5.2	1.9	9.9
	12	5.4	1.9	10.3
	13	5.4	1.9	10.3
	14	4.6	1.8	8.3
	15	5.1	4.0	20.4
倍面積 m2				166.9
面積 m2				83.5
地積 m2				83.50



舗装数量表 (1.0式当り)

種別	摘要	計算式	数量	単位
車道舗装	表層 (密粒度7377+)	$203.20+83.50=286.70m^2$	286.70	m2
	上層 (粒調砕石)	$203.20m^2$	203.20	m2
	下層 (切込砕石)	$203.20m^2$	203.20	m2
舗装砕砕	アスファルト	$203.20+83.50=286.70m^2$	286.7	m2
舗装切土工		$7.35+37.90+8.11=53.36m$	53.4	m

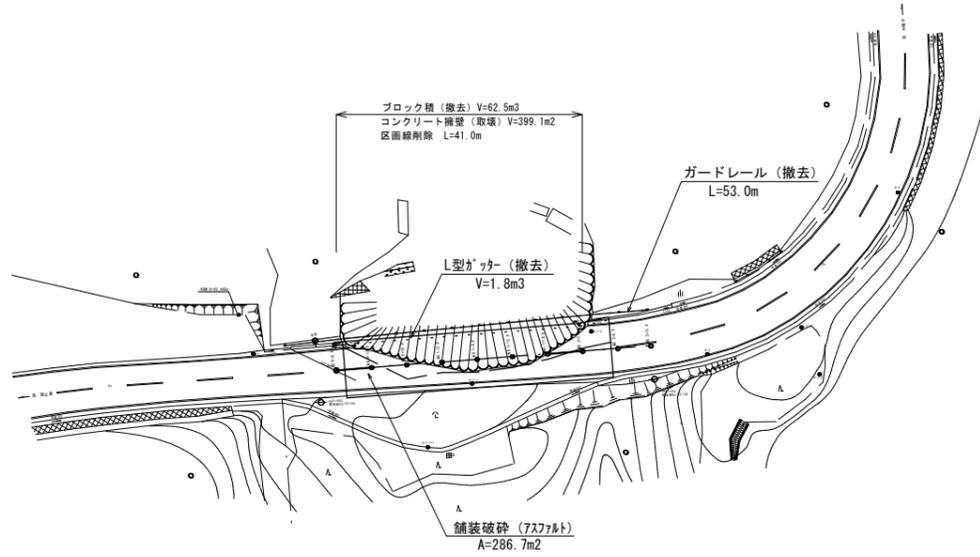


実施設計図

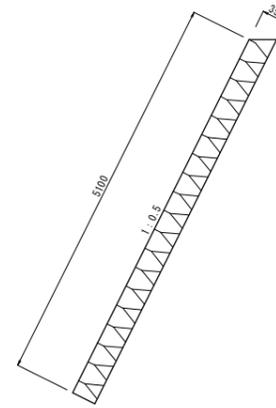
鹿 児 島 県	
工事名	令和5年度 5災第13号道路災害復旧工事
河川路線名	主要地方道 西之表南種子線
工事箇所	熊毛 中種子 増田 地内
図面種類	構造図
縮尺	図示の通り
図面番号	全 16 葉 第 13 号

5災第13号 道路災害復旧工事 (主) 西之表南種子線 増田

取壊・撤去平面図  
S=1:500



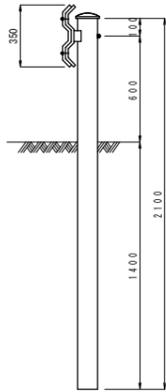
ブロック積 (撤去)  
S=1:50



ブロック積 (撤去) 数量表 1.0式当り

名称	摘要	計 算 式	数 量	単 位
延 長		L=35.0m	35.0	m
ブロック積	控長35cm	$5.10 \times 35.0 = 178.5m^2$		
	無筋 コンクリート殻	$178.5 \times 0.35$	62.5	m <sup>3</sup>

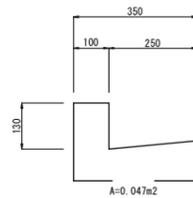
ガードレール (撤去)  
S=1:20



ガードレール (撤去) 数量表 1.0式当り

名称	摘要	計 算 式	数 量	単 位
(撤去) ガードレール	(土中用)	L=53.0m	53.0	m

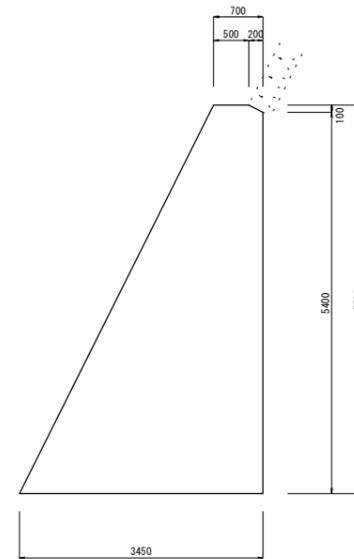
L型ガッター (撤去)  
S=1:10



L型ガッター (撤去) 数量表 1.0式当り

名称	摘要	計 算 式	数 量	単 位
(撤去) L型ガッター	延 長	L=39.0m	39.0	m
	無筋 コンクリート殻	$39.0 \times 0.047$	1.8	m <sup>3</sup>

コンクリート擁壁 (取壊)  
S=1:50



コンクリート擁壁 (取壊) 数量表 1.0式当り

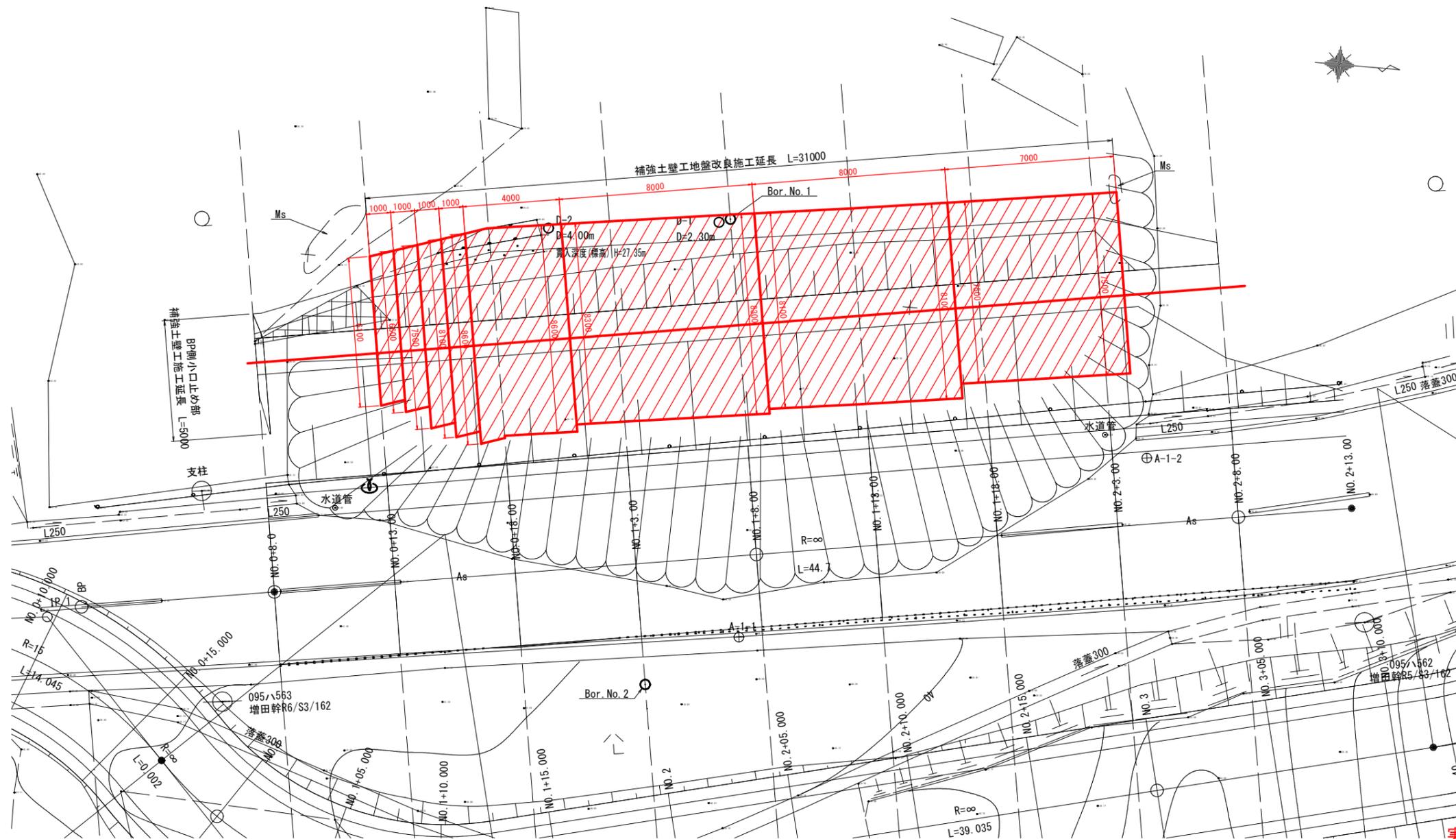
名称	摘要	計 算 式	数 量	単 位
延 長		L=35.0m	35.0	m
コンクリート擁壁	無筋 コンクリート殻	$\{1/2 (0.70+3.45) \times 5.50 - 1/2 \times 0.20 \times 0.10\} \times 35.0$ $= 399.09m^3$	399.1	m <sup>3</sup>

実 施 設 計 図

鹿 児 島 県	
工 事 名	令和5年度 5災第13号道路災害復旧工事
河 川 路 線 名	主要地方道 西之表南種子線
工事箇所	熊毛 市 中種子 村 増田 地内
図面種類	構 造 図
縮 尺	図示の通り
図面番号	全 16 葉 第 14 号

補強土壁地盤改良計画図(その1)

平面位置図 S=1:100



実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和5年度 5災第13号道路災害復旧工事
河川 路線名	主要地方道 西之表南種子線
工事箇所	熊毛市 中種子村 増田 地内
図面種類	補強土壁地盤改良計画図(その1)
縮尺	図示
図面番号	全 16 葉 第 15 号

補強土壁地盤改良計画図(その2)

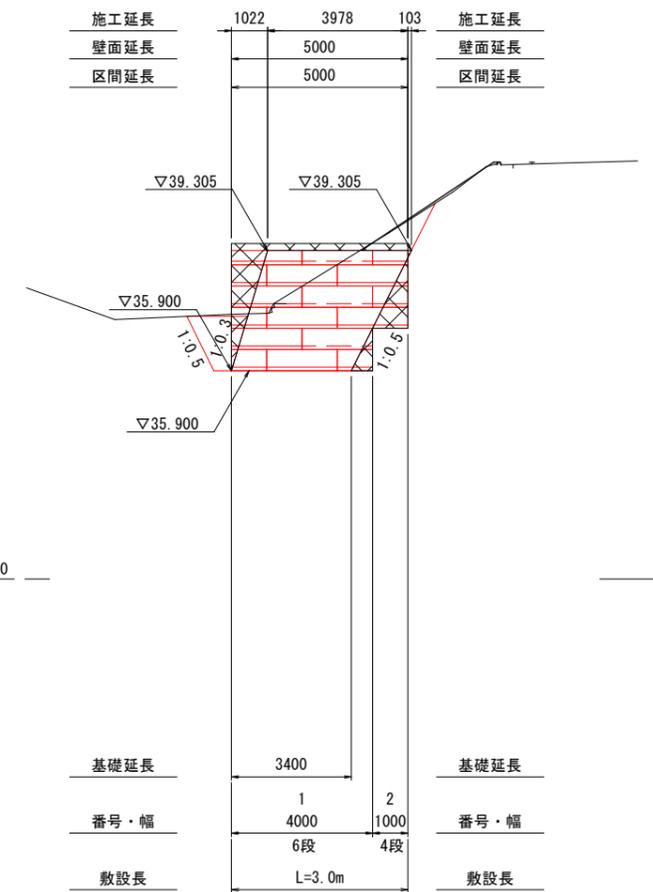
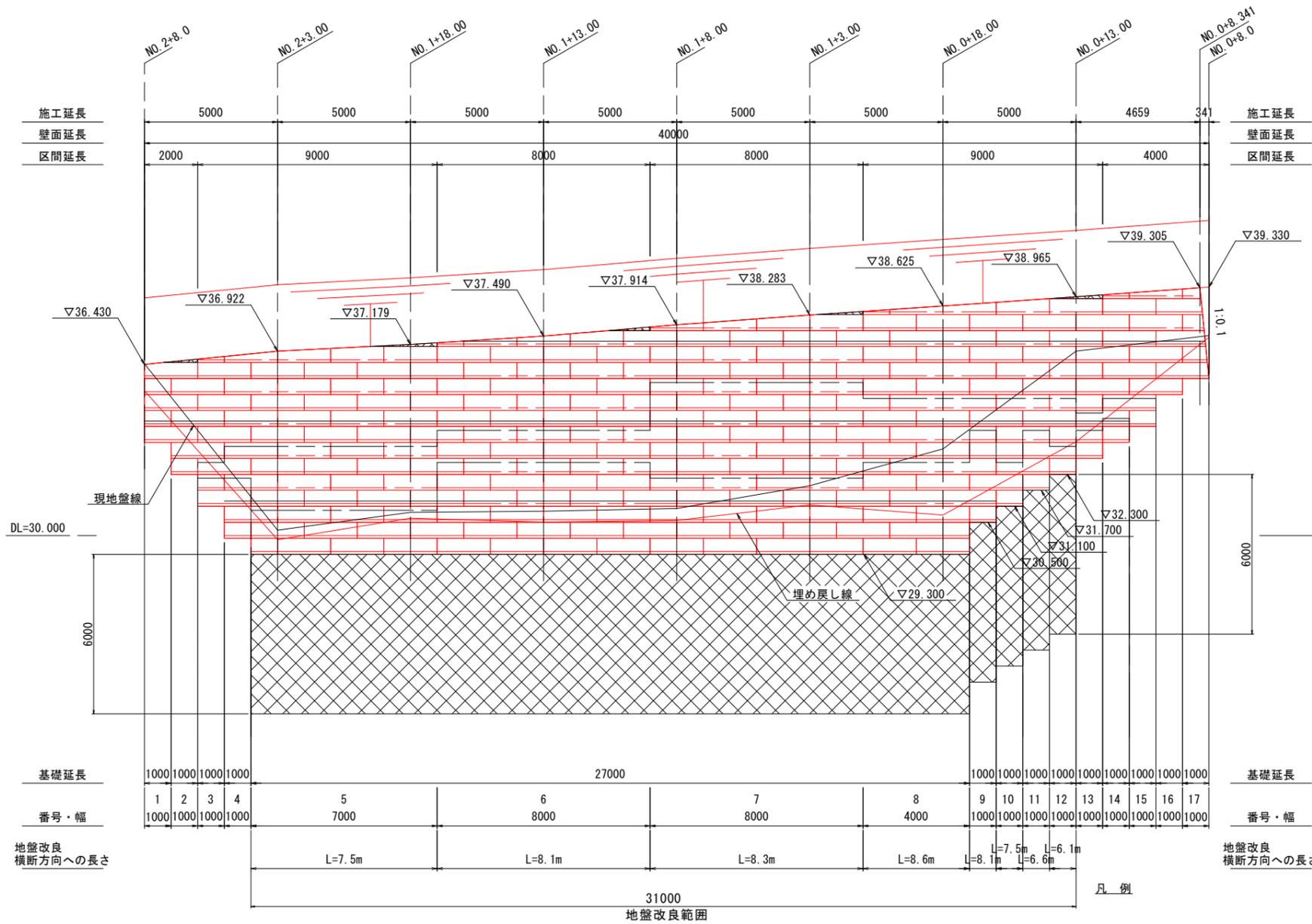
凡例

-  : ハッチング部分は現場にてカットを行う箇所を示す。
-  : 破線はジオグリッド(TA=24.7KN/m)を示す。
-  : 一点鎖線は壁面強化材を示す。
-  : 土のう積みにて施工を行う範囲を示す。

本線部  
壁面勾配1:0.3

正面展開図 S=1:100

BP側小口止め部  
壁面勾配1:0.1



凡例

-  : 破線はジオグリッドを示す。
-  : 一点鎖線は壁面強化材を示す。
-  : 実線は排水材を示す。
-  : 土のう積みにて施工を行う範囲を示す。
-  : 地盤改良範囲を示す。

地盤改良数量  
 $V = (7.5 \times 7.0 + 8.1 \times 8.0 + 8.3 \times 8.0 + 8.6 \times 4.0 + 8.1 \times 1.0 + 7.5 \times 1.0 + 6.6 \times 1.0 + 6.1 \times 1.0) \times 6.0$   
 =1478.4m<sup>3</sup>

補強土壁の地盤反力度

	最大地盤反力度 (計算値) Q	安全率 Fs	極限地盤反力度 (Q × Fs)	試験値
常時	216 kN/m <sup>2</sup>	3.0	648 kN/m <sup>2</sup>	650 kN/m <sup>2</sup>
地震時	215 kN/m <sup>2</sup>	2.0	430 kN/m <sup>2</sup>	

○地盤改良の添加量は、試料採取し室内配合試験を行い、決定する。

実施設計図

鹿児島県	
工事名	令和5年度 5災第13号道路災害復旧工事
河川名	主要地方道 西之表南種子線
工事箇所	熊毛市 中種子村 増田 地内
図面種類	補強土壁地盤改良計画図(その2)
縮尺	図示
図面番号	全 16 葉 第 16 号